

TOHATSU

PARTNER



2012年10月20日
トーハツ株式会社は
設立80周年を迎えます

VOL.87

2012年8月1日発行/夏号



Photo: トーハツの新戦力 EV軽消防車

CONTENTS

- 平成24年トーハツポンプ特約販売店全国大会 P2
- 福島県消防大会開く P2
- TAC設立10周年を迎え祝賀会 P3
- 全国消防機器協会が機器等関係者を表彰 P3
- 日本消防ポンプ協会が功労者を表彰 P3
- 春爛漫 地域に根ざすポートショー各地で満開 P4~5
- 駒ヶ根市で消防ポンプ操法大会 P6
- 福井県坂井・あわら両消防団が駒ヶ根工場見学 P6
- 勝どきマリーナでボート試乗会 P6
- 奈良県消防協会が駒ヶ根工場を視察 P7
- 米国防災展へ消防ポンプ出展 P7
- 札幌国際防災展/アジア消防庁会議 札幌で開催 P7
- 九州・山口トーハツポンプ会が総会 P7
- 朝日新聞が「成長企業」としてトーハツを紹介 裏表紙
- 駒ヶ根工場内でポンプ技術研修会 裏表紙
- トーハツから新たなご提案 (EV軽消防車) 裏表紙



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

平成24年 トーハツポンプ特約販売店全国大会を開催

金子社長挨拶 80年の歴史は販売店のご愛顧のおかげ



全国各地のポンプ特約販売店が一堂に集う、平成24年トーハツポンプ特約販売店全国大会が、去る4月18日・19日の両日、静岡県伊東市にある浮山温泉郷・坐漁荘で開催されました。会場前にはトーハツの防災営業部員が整列。来場した販売店代表者の一人ひとりに心を込めて歓迎。また設立80周年記念の年にちなんで、往年の名機と言われたポンプやオートバイ、更に最新の電気軽積載車(参考出品)を展示し、粋な舞妓さんと共に出迎えました。

開会に先立ち、昨年の東日本大震災での犠牲者をはじめ、近年他界された関係者等を悼み黙祷が行われました。その後、トーハツ金子社長が挨拶。「設立80周年を迎えるにあたり、長い歴史を築くことができましたのも特約販売店の皆様のご愛顧とご支援の賜物であります」と述べられた後、東日本大震災から1年が経過した被災地の消防体制の復興を強く願い、今後消防・防災関連商品の幅を拡大し、多様化している消防のニーズに合った機器を供給。特約販売店様と共に販売の拡大を図って行くことを誓いました。引続いて小山本部長、青山防災営業部長より、総務省消防庁における復興・復旧支援のご協力お礼の報告、更に可搬消防ポンプのシェア率55%以上を目標とする販売強化策の方針など

が説明されました。また技術部より新製品の発表が行われ、ユーザーニーズに合った製品である、と会場内の評価は上々。今後のポンプ・積載車関連の販売増が期待されるそうです。

一方、平成23年度販売コンクールの表彰式では、巨大地震、大津波、原発事故などによる未曾有の大災害を被った東日本の復興・復旧の年と重なり、こうした環境下においてこの度は多くの方々が表彰され喜びに沸きました。この後トーハツポンプ中央会の藤松会長が祝辞を述べられ、今大会第1部をめでたく終了しました。

第2部懇親会は、東北トーハツポンプ会・平間会長の乾杯の音頭でスタート。80周年の記念式典に相応しく、本場京都の舞妓さんの格式高い“舞”が披露され、ムードは最高潮。お酒や料理なども東北産を周到に取り揃え、大いに盛り上がりました。

尽きない宴を締めしたのは、北海道トーハツポンプ会の開会長。簡潔な挨拶の後、同会長の発声で万歳三唱。盛会を極めた今大会も無事閉幕しました。遠路ご出席賜った特約販売店様には厚くお礼申し上げます。(防災中央/小鷹)



東日本大震災後初めての「福島県消防大会」開く

秋保温泉や鳴子温泉と並び、奥州三名湯に数えられる福島市郊外の飯坂温泉「パルセいいざか」で、去る5月26日、「第65回福島県消防大会」が盛大に行われました。昨年の平成23年度大会は、壊滅的な被害を被った東日本大震災と、東京電力福島第一原子力発電所事故によるダブルパンチの影響で早々に中止されたものの、開催場所は持ち越しになっていたものです。

いまだ全県下に深い傷跡を残し、復興への不透明感を払拭できな

い環境下で開かれた今大会でしたが、福島県全域より各地域消防団長をはじめ大勢の消防・防災関係者が参列。例年になく盛り上がりを見せました。

大会は開会の辞、国歌斉唱に続き、この度の震災で亡くなられた多くの犠牲者に黙祷をささげた後、(財)福島県消防協会の小瀧会長による式辞、佐藤福島県知事の挨拶などで式は肅々と進行。また恒例の各種表彰式では、消防・防災に貢献のあった消防団員個人や地域団体等多くの方々が表彰台に立ち、防災への決意を新たにしています。

この後大会は「平成24年度福島県消防大会宣言」、及び「平成24年度福島県消防大会決議」を宣言。最後に万歳三唱して閉会しました。(防災東北/中島)





トーハツ・アメリカ・コーポレーション(TAC) 設立10周年を迎え祝賀会

2002年5月、北米にトーハツ船外機の独自の海外販売拠点を構築するという悲願を達成すべく、テキサス州ダラスにTACを設立。今年5月で10周年を迎えました。トーハツではこれを記念して、去る5月18日、地元ダラスにある「ラ・シー・マ・クラブ」に株主のトーハツ(株)・日産マリン(株)他、関係者多数の来賓を招いて10周年の記念祝賀会を開催。盛会を極めました。

トーハツ船外機の1号機が誕生したのは1956年です。今から56年も前になります。当時発売したOB型1.5馬力(通称・赤シャッポ)は国内で順調に販売台数を伸ばし、国産船外機として初めてのマス・プロ製品となりました。一方、米国市場での販売開始は、トーハツブランドが30年前の1982年。日産ブランドが1985年で、もちろん国産では初めての輸出販売です。

当初の米国での販売は、商社経由または日産ブランドによるOEM販売でしたが、2002年5月、丸紅(株)から同社の販売子会社であるMEP社の資本80%を買収し、トーハツ(株)の子会社化を実現。同時に社名も「TOHATSU AMERICA CORPORATION(TAC)」に変更して、米国にトーハツ初の

販売会社が誕生したのです。しかしその道程は決して平坦なものではありません。ダンピング問題や排気ガス規制強化など様々な問題に直面するも、社員一丸となって数々の障害を乗り越え、この度の10周年を迎えることができました。これからも皆さま方のご支援ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。
(TAC/宮川)



消防機器等関係者表彰で

トーハツ(株)取締役営業本部長 小山 将 氏が受賞

平成24年度消防機器等関係者表彰が、去る5月29日、東京・麹町にあるスクワール麹町で行われ、トーハツ(株)取締役営業本部長の小山 将氏が、この荣誉ある表彰を受賞されました。



表彰式には、この賞を主催する全国消防機器協会の関係者はもとより、消防庁長官、日本消防検定協会理事長、日本消防設備安全センター理事長などの他、多数の消防関係者や業界関係者が出席され、盛大且つ厳粛に執り行われました。

表彰式後の記念撮影では、受賞者は消防庁長官や各理事長らのお歴々と共に、和やかにフラッシュを浴びていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。(防災中央/小鷹)

日本消防ポンプ協会
平成24年度功労者を表彰

トーハツの井手・杉浦の両氏がめでたく受賞

一般社団法人日本消防ポンプ協会の定期総会と、それに伴う平成24年度の功労者表彰が、去る5月22日、消防業界の関係者多数出席の下、東京・信濃町にある明治記念館で行われました。

前日には世紀の天体ショーの金環日食、またこの日は東京スカイツリーの開業などがあって日本中が沸く中、この荣誉ある功労者表彰にトーハツから2名が表彰されました。表彰されたのは、防災営業部業務課主任の井手隆雄氏と技術部設計2課主任の杉浦鉄男氏の両氏で、共に消防ポンプをはじめ、防災機器業界の発展に寄与された功労が認められての受賞です。

さて今年は、同協会設立50周年に当たります。この度は、その記念講演としてタレントのアグネスチャン氏を招き「みんな地球に生きるひと」をテーマに、笑いあり、涙ありの貴重な人生観を語って頂きました。おかげで祝賀会も大いに盛り上がりました。この度受賞された井手隆雄氏、杉浦鉄男氏には、心よりお祝い申し上げます。
(防災中央/小鷹)





陸上・海上の両面展示で人気沸騰

関西フローティングボートショー2012

関西が誇るマリン基地・新西宮ヨットハーバーで、今年も去る4月6日～8日までの3日間、お馴染み「関西フローティングボートショー2012」が開幕。近年実施されている陸上展示・海上展示の両面作戦により、いつでも「テスト試乗OK」とあって入場者数も年々増加。この度は期間中6,300人を突破する勢いでした。

今回のトーハツの海上展示艇は、「気軽にフィッシング」で定着した人気を堅持している「マーベラス21α」艇。搭載エンジンはクリーン&エコノミーの直噴MD90C2。走りと環境性を両立したロングセラーモデルです。一方陸上展示では、一般的に市場性の高い低馬力船外機を主体に展示。ユーザーの方々には、じっくりと見て触れて頂きました。

今年もトーハツ・ブースに来場賜りました販売店様、ユーザーの皆様には厚くお礼申し上げます。

(マリン関西／三好)

瀬戸内のマリンレジャーをアピール

「広島ボートショー/広島マリングランフェスタ2012」開幕!

中国地方を代表するマリンレジャーの祭典「第27回広島ボートショー／広島マリングランフェスタ2012」が、去る4月14日・15日の両日、広島市西区にある観音マリーナで開幕。瀬戸内の本格的なマリン・シーズンinと共に、ボートメーカー各社による熱いマリン・ビジネスがスタートしました。

会場の観音マリーナには、各メーカーの最新モデルなど30数艇が展示された他、可搬ミニボート試乗会、マリングッズ／海の駅特産品の販売、大震災による東北支援イベントとして「広島県物産展」なども催され、評判を呼んでいました。また特設ステージでは、海洋冒険家・堀江健一氏の講演やサイン会、ひろしま清盛美少女隊のミニコンサートなども開かれ集客に貢献。2日間による入場者数は延べ8,000人を上回る盛況ぶりを見せました。

一方トーハツの展示会場では、直噴船外機90馬力(MD90C2)搭載のロングセラー艇「マーベラス21」を投入して展示試乗を実施。新規のお客様をはじめ、予てから商談中のお客様もテスト試乗された後に早速ご成約いただくなど、今年も春から手ごたえ充分。担当のトーハツマン、やる気満々の広島ボートショーでした。

(マリン関西／田中)



名古屋ボートショー 満を持して開催!

屋内展示スタイルのボートショーは4年ぶりの開催という「名古屋ボートショー」が、去る4月21日・22日の両日、満を持して市内ポートメッセ名古屋で開催。初日は低気圧の通過に伴う生憎の悪天候。早々に屋内展示の強みを発揮し、場内は家族づれの行楽客などで賑わいました。

今回出展したマリン関連企業は、トーハツをはじめ全36社。とりわけボートメーカー各社は、揃ってレジャーボートをメインに据えましたが、トーハツはあえてレジャー和船の「TFW-21B2」をMD50B2船外機とセットで展示。この和船は、実際に使用している状況をイメージし易い形状をしているため、じっくり品定めするユーザーが目立ちました。

一方船外機関連では、MFS2BS、MFS9.8A3EFL、MFS20CEFTL、MFS30BEFGLなど、トーハツのオリジナリティ溢れるラインナップを展示。このためトーハツ・ブースに釘付けされたユーザーも多く、質問攻め派から応援メッセージ派まで様々な反響を頂くなど、今年も熱いビジネスを予感させるボートショーでした。

なお今回のボートショーに、全面的にご協力賜りました(有)鳥新様をはじめ、(有)おおげさま、(有)オーパ・クラフト様、(株)マルハン様、他関係各位の皆様には誌上より厚くお礼申し上げます。

(マリン中部／菊谷)

春爛漫 地



2012 九州マリンフェスタ in 福岡マリーナ

悪天候のため2日間の予定が2日中止

春恒例の「九州マリンフェスタ in 福岡マリーナ」が、去る4月21日／22日、福岡マリーナで開催しましたが、翌22日は安全基準を超える風雨が吹き荒れる悪天候のため早々に中止を決定。今回は残念ながら1日開催となりました。この度のマリンフェスタは、マリンレジャーボートの他にEV自動車やキャンピングカーなど他業界の出展も加わり、更に地元産直品販売も行われるなど、ユーザーにとってはまたと無い行楽日和。

トーハツでは、この日の展示用としてロングセラーのレジャー艇「TF-250SC」を投入。リーズナブル価格帯としてトップクラスの優れものあって、多くのユーザーがこの「TF-250SC」艇に興味津々で群がっていました。

一方船外機では、トーハツ独自の2サイクル直噴エンジンに関心が集。係員に詳しい説明を求めるユーザーが後を絶ちません。またお馴染みの船舶免許不要の2馬力エンジンを搭載したゴムボートは、相変わらず地道な人気を獲得していました。

今回は残念ながら一日限りの海の祭典となりましたが、マリンシーズン到来へ、確かな手ごたえを実感したイベントでした。

(マリン九州／小畑)



北海道で「フィッシュランド in 函館」開く 近づく本格シーズン IN に向けご成約相次ぐ



熊本ポートショー

リーズナブル価格の和船に 熱い視線

薫風爽やか。絶好の行楽日和に恵まれた去る5月12日・13日の両日、熊本市内・熊本新港特設会場で恒例の「熊本ポートショー」が開幕。天候も味方してくれたのか、例年を大幅に上回る1,630人余が来場。活気に溢れたポートショーになりました。



トーハツでは、最近好調な売れ行きを示している和船「TFW-23A」、船外機では「MFS2B」に加え「MFS9.8A3」の2台を展示。本格的なフィッシングが楽しめるリーズナブル価格の「TFW-23A」の周囲には、常にユーザーの方々が群れて熱い視線を向けていました。

この度の出展に際し、多大のご協力を賜った地元の大矢野マリーナ様には、誌上より厚くお礼申し上げます。(マリン九州/福松)



域に根ざす

各地で
満開

釣りを楽しみながら安全講習会

北海道で「ミニボートフェスティバル 苫小牧」開催

フィッシングを堪能しながら、ミニボートの安全講習会が同時受講できると言う太公望には願っても無い「ミニボートフェスティバル 苫小牧」が、去る6月10日、北海道・苫小牧市の勇払マリーナで開催されました。

生憎と前日から強風が吹き荒れ、海上にはうねりが残る最悪のコンディション。一時は開催が危ぶまれましたが、予定より15分遅れの午前6時15分、フィッシングが一斉にスタート。前夜から待ち焦がれた太公望たちは、我先にとポイントへ舵を切りました。昨年に次ぐ第2回目を迎えた同フェスティバル、遙か遠い大阪からの参加組みもあって、いよいよ全国規模化の様相。皆さん黙々と大物狙いに没頭していました。

さて、このミニボートフェスティバル。釣った獲物の検量・集計の合間を利用して、次は快適なミニボートライフのための安全講習会。講習受講者には安全運航基礎知識を有していると認定され「MINIBOAT安全講習受講証」が授与されます。この受講証を提示することで、当「勇払マリーナスロープ」を利用できるようになります。限られた場所からしかボートを出せない状況下、これは大きな特典と言えます。

そして講習会修了後は、お待ちかねの表彰式。受賞者が登壇する度ごとに喜びと歓声に包まれながら、無事エンディングを迎えました。

ご参加頂いた多くの方々の喜びに溢れた笑顔に接し、マリンライフの安全性を痛感。このようなメーカーの地道な活動が、安全への大きな一歩に繋がるのだと思いました。(マリン課/藤川)

北海道の陽射しも日増しに強まり、いよいよマリンシーズン到来を予感させる陽気が続いた去る5月19日・20日の両日、アキレス主催によるゴムボート試乗会「フィッシュランド in 函館」が開かれました。

この試乗会は、ゴムボートに4ストローク2馬力や6馬力/9.8馬力などのトーハツ船外機をセットして試乗する楽しさ溢れるイベントで、春の陽気に誘われて試乗希望者が続々来場。船体の違い、エンジンの違いなどをしっかり確かめつつ、実際の使用を想定しながら試乗を楽しんで頂きました。また船体とエンジンの相性、プロペラの素材、ピッチの違い等、かなり専門的な質問をされる方もいて、トリム角度等を実際に調整しながら走行し、その違いを体感して頂くなど内容もかなり充実したものとなりました。

その甲斐あってか10台近いご成約の他、引き続き商談中の案件もあり、結果を伴う実のある試乗会でした。

試乗会開催に際し、多大のご協力賜りましたアキレス様、並びにフィッシュランド様、マリンサービスさき様、スズキマリン様には、誌上より厚くお礼申し上げます。(マリン課/石丸)



長野県駒ヶ根市で 消防ポンプ操法大会



第54回目を迎えた駒ヶ根市消防ポンプ操法大会が、去る6月10日、駒ヶ根市にあるTMC(トーハツマリンコーポレーション)の駐車場で開催されました。

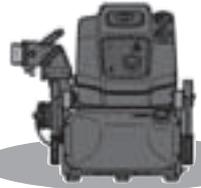
今大会の優勝チームは、次の県大会への出場権が得られるとあって、緊迫したプレーが展開されましたが、可搬ポンプの部ではトーハツVF63ASで出場した同市の第4分団8部が優勝。またポンプ車の部では第4分団2部が優勝。両消防団チームは、次の長野県消防ポンプ操法大会への出場を決めました。

会場では、その他にも救護技術競技、及びラッパ吹奏技術競技なども行われ、大いに盛り上がりを見せました。競技の結果は様々でしたが、この日生まれた数々のドラマは、選手や関係者の脳裏にいつまでも残り続けることでしょう。

(防災中央/高橋)



福井県 坂井消防団 / あわら消防団が 駒ヶ根工場を 見学



福井県の名勝地“東尋坊”

で知られる坂井市の坂井消防団と、同県あわら市のあわら消防団のご一行が、去る5月28日、同県嶺北消防組合様のご引率でトーハツ駒ヶ根工場を見学されました。

ご一行は会議室で工場の概要説明を受けられた後、係員の案内で早速工場見学へ。まずは船外機の組立てラインを経て、次のポンプ組立工場へ。ここではエンジンの組み立てからポンプ本体の組み立て工程、そして次の完成検査を行う運転場へと向かい、工程の流れに沿って見て頂きました。

普段は主にポンプ自動車と、それに積載したC-1級ポンプで火災に対応している消防団の皆さんは、めったに見ることのできない製造現場に興味津々のご様子。また運転場でVF53ASとVC82BSの放水運転を見学した際には、4ストロークポンプの静粛さに一様に吃驚していました。

この度、ご見学頂いた坂井消防団様、並びにあわら消防団の皆様、そしてご引率頂きました嶺北消防組合様には、誌上より厚くお礼申し上げます。(防災中部/福田)



勝どきマリーナ

昨秋に引き続き春の試乗会

今春3月、横浜で行われたボートショー会場にてトーハツボートに品定めしたユーザーをサポートしようと、都内のトーハツパイロット指定店「勝どきマリーナ」では、去る4月7日・8日の両日、同ボートショーに展示した和船「TFW-25B」艇の試乗会を実施しました。

この試乗会は昨秋に続く開催ですが、とりわけ慎重派ユーザーからは大歓迎で迎えられました。希望が叶ったと遠方から期待に胸を膨らませて来場される方々もいて係員も感激。また太公望を自認するユーザーの中には、いま評判の本格和船を試乗できるとあってオープン前から来場された方々もちらほら。この両日訪れた沢山のユーザーが、MD90C2をセットした「TFW-25B」艇のTLDIエンジン独特の加速感を体感しながら、満開の桜に彩られた勝どき橋界隈からレインブリッジに至る東京ベイエリアのロケーションを満喫。すぐそこまで来ているマリンシーズンへ向け、マイボートの感触を実感していたようです。

この度の試乗会開催に際し、多大なる御協力を頂きました勝どきマリーナ様には誌上より厚くお礼申し上げます。(マリン関東/飯島)



(財)奈良県消防協会が トーハツ駒ヶ根工場を視察

(財)奈良県消防協会では、この程行われた支部長研修会の一端にトーハツ駒ヶ根工場視察を加えることになり、去る5月30日、同研修会ご一行が駒ヶ根工場を訪れました。

ご一行は係員の案内で、先ず船外機の組立てラインを見学。自動化された工程、試運転の状況などじっくりと見て頂きました。次にポンプ棟へ移動。一台ずつ手作業で組み立てる様子などを見学。またポンプ運転場では、VF63AS機の運転確認で「2ストローク」と「4ストローク」の音量の違いを実感して頂きました。

今回は限られた時間内での見学会のため、その一端しか視察できませんでしたが、それでも沢山のご質問もいただきました。消防ポンプに関する知識など、より以上に深めて頂けたかと思えます。

この度はトーハツ駒ヶ根工場をご見学下さいまして、誠に有難うございました。
(防災関西/田村)



札幌国際防災展 / アジア消防庁会議 札幌で開催

最新の消防・救助・救急資機材から、防災製品、消防・防災システム開発などまで幅広く紹介しながら、消防・防災技術の普及・啓蒙を目的とした「札幌国際防災展 / アジア消防庁会議」が、去る6月22日・23日の



両日、札幌コンベンションセンターで開催されました。

このイベントにトーハツは消防ポンプの他に、最新のポンプ付EV車両、ポンプ付軽自動車、救助・救急資機材などを展示しました。とりわけ消防ポンプでは、VF53AS-Tiとリモートパネルのセットで展示したことにより、従来とは違う操作性を感じて頂けたと思います。また救助・救急資機材では、全国各地の消防で採用されている「コワレンゾー」をはじめ、「フローストレーナー」、水中探査装置の「探サー」、赤外線温度警報装置「レッドホーク」など幅広く展示。消防署員、消防団員などから注目されました。

一方入場者関連では、併催された「アジア消防庁会議」に出席された多くの外国人の方々や、国内の消防関係者、防災関連企業、自主防災組織関係者、そして全国の販売店様等々、トーハツ・ブースに沢山のご来場を賜りました。また当日はファミリー客も沢山来場。子供たちの人気になったのがトーハツのEV車両とポンプ付軽自動車。運転席に乗って記念撮影したい希望者が行列を成す程の盛況ぶりでした。ちなみに2日間の総入場者は13,700人を突破。消防・防災への関心の大きさを示しました。

遠路、トーハツ・ブースにご来場賜ったユーザーをはじめ販売店の皆様には、誌上より厚くお礼申し上げます。
(防災営業部/手島)

米国防災展 「FDIC 2012」へ 消防ポンプ出展



米国インディアナポリス市内で、去る5月16日～21日開かれた防災展「FDIC 2012」に、トーハツ消防ポンプを現地代理店と共同で出展。多くの引き合いを頂きました。

カナダからはトーハツディーラーも来場され、トーハツポンプを導入した近隣の消防関係者から、拡販に関する貴重なご意見も拝聴。またお土産がわりに注文も頂き、トーハツミーティングもといFDIC 2012は大成功のうちに閉幕。

現地ディーラー、協力店の皆様には厚くお礼申し上げます。

Thank you very much!
(防災海外/宮川)

九州・山口トーハツポンプ会 平成24年度総会



九州・山口トーハツポンプ会の平成24年度総会が、去る5月31日・6月1日の両日にわたり、福岡市内の「ホテルオークラ福岡」で開催されました。会場内には、この度発売された最新型の多目的探索機「探サー」が展示され、その先進性を会員各位にアピールしました。

総会は定刻スタート。トーハツ金子社長の挨拶に引き続き同ポンプ会の西銘会長が挨拶。先の特約販売店全国大会のお礼などの後、最新の軽EV積載車両の普及などについても言及され、大きな期待を示しました。また質疑応答では、ポンプ業界による4サイクルポンプの開発状況に関する意見交換も活発に行われるなど、盛会裏に終了しました。

総会を終えて一風呂浴びた後の懇親会は、また格別。和やかな盛り上がりを見せる中、大いに親交を深めました。翌日は小郡カンツリークラブでのお楽しみゴルフ会とあって、ポンプ会会員の面々は、いつもよりちょっと早めに就寝されたようです。

遠路でご出席賜りました皆様には、誌上より厚くお礼申し上げます。
(防災九州/田中)

「朝日新聞夕刊に当社記事掲載」

2012年7月9日(月)朝日新聞夕刊「うちへおいでよ 成長企業」欄に当社の記事が掲載されました。新卒採用に関して、当社の概要及び技術部員の社員の声が紹介されています。今後の新入社員とともに、現社員ともども更なる成長を目指していきます。(総務課/渡邊)

駒ヶ根工場内で **ポンプ技術研修会**



修了証

トーハツ(株)主催による「平成24年度トーハツポンプ研修会」が、去る7月2日～6日までの5日間、駒ヶ根工場内で開催され、全国のポンプ販売店から11名の研修生が参加して行われました。

研修会は防災営業部青山部長による開会の挨拶を皮切りに、初日は座学をメイン、2日目以降はポンプの分解・組立てなどを交えたハードなスケジュール。研修生は講義に熱心に耳を傾け、メモを取り、質問なども活発に行い、時には講師が困惑する場面などもあって、張りつめた中にも和やかムードの進行ぶり。

またトラブルシューティングの研修では、実際に発生した不具合事例を基に作為的に不具合箇所を発生させ、研修生自らがその不具合状況を確認し原因究明を体験するという中身の濃い内容でした。とりわけ操法時や中継送水時のポンプ操作方法の研修では、ポンプ操作の難しさを実感したようです。

予定されたカリキュラムを無事終えての閉会式では、防災営業部荒田課長より「修了証」が授与され、研修生は思わずニコリ。5日間にわたる長～い研修会が閉幕しました。今後は今回修得した技術と知識を活用し、更なる活躍を期待しています。研修を終えた皆さん、大変お疲れ様でした。

(防災中央/小鷹)



安全と安心 技術に昇華



トーハツ
「安全と安心 技術に昇華」



トーハツから

新たなご提案!!

環境問題が大きく取り沙汰されている今日、環境に優しい三菱自動車工業(株)製「MINICAB MiEV」で消防車を製作しました。

この消防車は消費電力を考慮し、散光式警光灯からサーチライト、作業灯に至るまで「LED」を採用。走行性能に至っては電動モーターによりトルクフルで力強い発進と共に、抜群の静粛性を実現しました。

また装備品は、可搬式消防ポンプをはじめ消火活動に必要な消防付属品を搭載。次世代の可搬式消防ポンプ付軽積載車として、ご提案申し上げます。(防災中央/高橋)



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美/青山 滋